

JIA 城北地域会



「団地ライフ」は語る（北区 赤羽台団地・桐ヶ丘団地）

戦後建設された日本有数の大規模団地として有名な北区の「桐ヶ丘団地」と「赤羽台団地」を見学しました。
戦後の住宅難を解消するための一連の住宅政策の中で実施されたこれらの団地は、「集合住宅の暮らし」という新しい住まい方を提示し、定着させた意義は極めて大きかったようです。

1. 桐ヶ丘団地にて

40年以上の歳月が経過した現在、時代的な背景も変わり、その要求に衝突する。例えば、時代性と諸制約で各住戸には浴室が無く、共同浴場を使用する住棟が多くみられる。
写真は浴室をユニット化してバルコニーに設置した事例のようです。
悪戦苦闘の結果がよくみられ、給湯装置や給水管、排水管、排気管などが露出し、林立しているさまは、どこかでみた前衛的現代建築のようです。

2. 赤羽台団地にて

「スターハウス」と呼ばれたこの建て方は、当時としてはかなりオシャレだったでしょう。階段室と共用廊下を三角形の中に入れ、それを中心に各辺から放射状に住戸を配置したパターンは建築計画の定形ですが、住戸の独立性、三面採光、変化のある外観そして最少の共用部など、今の時代でも魅力的に見えませんか？

磯部 和久/アトリエ磯部

城北地域会は豊島・練馬・板橋・北の4区とその周辺からなる城北地域の特性を生かした諸活動を展開しようとする地域会です

地域を熟知した地域会員ならではの視点でとらえた城北地域の景です

地域会会員が常日頃地域に対して抱いている感性や街への思いを垣間見て頂けることと思います

このような意識のもとに建築家として地域に何が出来るかを考え行動しています



練馬区 松山憩いの森（練馬区 石神井台8丁目）

練馬区には昭和50年頃より、おおよそ1,000m2以上の緑地を「憩いの森」に指定し、現在40数箇所に至っております。
これは宅地化により緑被率が減少し、環境の悪化を防ぐための制度であることはいうまでもありませんが、土地所有者の理解と同意があって成り立っているものであり、貴重な緑地といえます。
区民に解放され、適宜利用されていますが、その貴重さからみて、もっと活用されてもよいのではないかとということで、昨年から区民と区の協働で「森のカルテづくり」と称して各々の憩いの森の調査をしています。
樹木や野草の植生や土壌の調査、昆虫や野鳥の生態調査などが趣旨ですがその結果、どのような活用が可能であるかを考えます。地元の区民や学校にも呼びかけ、共に協働することにより、コミュニティーづくりへの寄与にもなっています。

磯部 和久/アトリエ磯部



街並デザインされた屋敷森（練馬区）

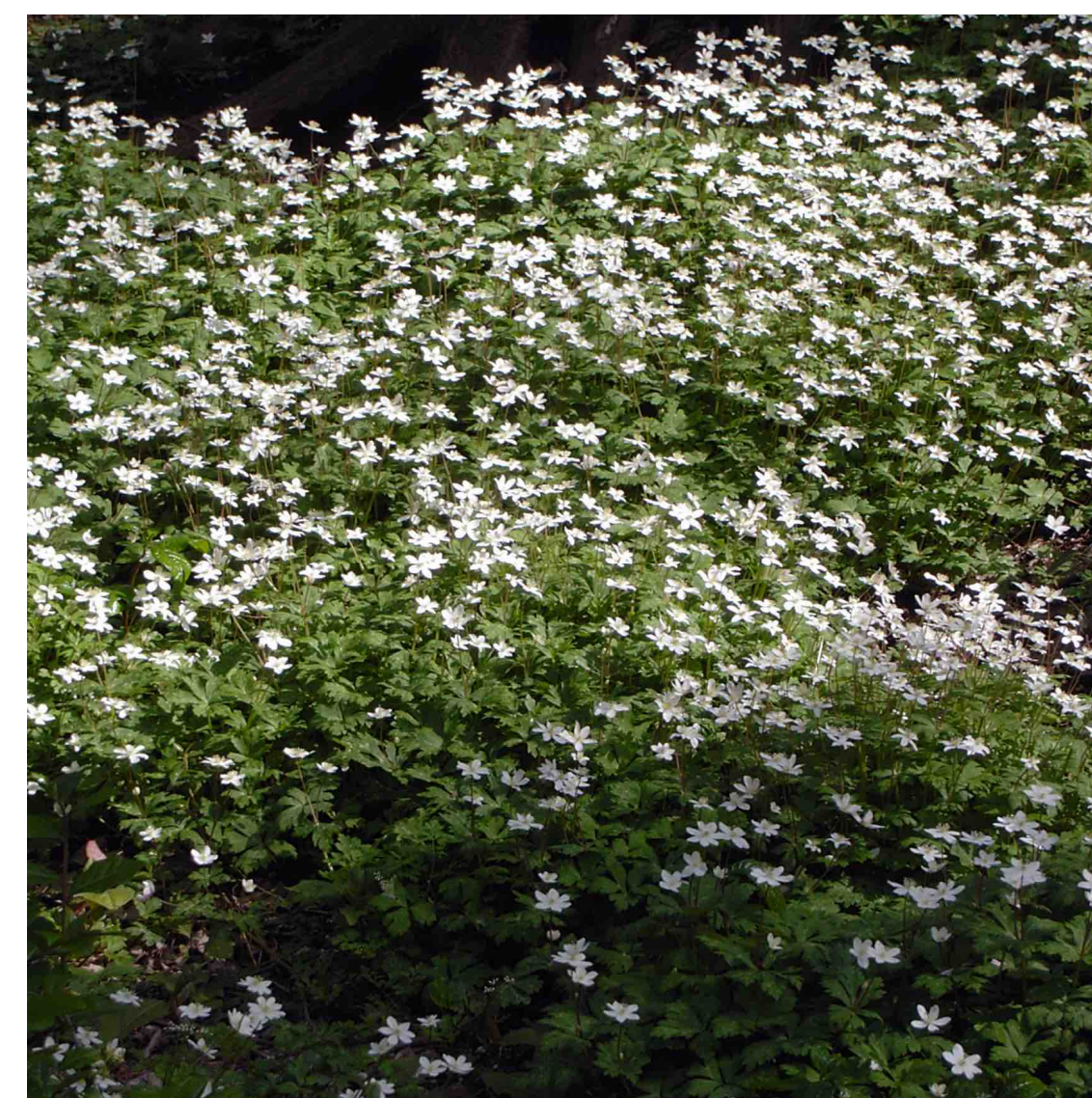
市民農園と隣接した屋敷森に囲まれた農家の風景です。街並に配慮した、美しい景観で、周辺の畑景観とも見事になじんでいます。
久間 常生/久間建築設計事務所



農と都市の景観（練馬区）

畑と屋敷森と、宅地開発の小建住宅、建設中の高層建築遠景、の練馬を象徴する風景です。
大きな樹木の屋敷森やキャベツ畑はまだ練馬区内にいくつか残っていますが、徐々に減少し、宅地開発等が進んでいます。
これらのふるさと景観を開発や宅地化との折り合いを考えながらどのように守り、生かしていくか、地域の大きな課題です。

久間 常生/久間建築設計事務所



ニリンソウの自生群落（板橋区 赤塚公園）

ニリンソウは3月下旬から4月下旬にかけて咲く、キンポウゲ科の多年草。板橋区内では、かつては雑木林などの湿った場所で普通に見られた花でしたが、宅地化等の影響で減少し、現在は赤塚公園等の斜面地で自生の群落が見られます。
ニリンソウが育つ自然環境を守りたいとの考えから、板橋区は区の花に指定しました。
赤塚公園は武蔵野台地の周縁部に位置し、その崖線に沿った北斜面はニリンソウの自生地です。
崖線を作る自然や歴史等の様々な側面での恩恵を、そこに自生する花は教えてくれているようです。そして、地域資産として継承すべきたくさんの事象を無造作に扱ってきってしまったことを象徴しているように思います。わずかに残った自生の群落に嘆くより、この環境を次代に伝えたいとした姿勢に共感します。
我々が地域の歴史や文脈を丁寧に読み解き、それをどのように生かしていくかを、小さな花達は見守っているように思えます。

鈴木 和貴/PAX建築計画事務所



石神井川の桜と親水空間（練馬区 高野台付近）

城北地域の3区をつらねる石神井川は地域の景観を形成する大切なみどり軸です。上流の練馬区でも多くの桜並木があり、特にこの高野台付近の親水空間は大規模で心地よい遊歩道が確保されています。

久間 常生/久間建築設計事務所



まるます家（北区 赤羽一番街）

城北地域において「軍部」と「川の恵」は重要なキーワードです。昭和25年創業のこの店は、荒川や周囲の池でとれる川魚の料理の店として商店街と共に栄え、愛されてきました。
軍の施設で人口が集積した街は、その跡に新しい時代のライフスタイルの提案に未来の夢を抱いた団地として脚光を浴びることになります。そして、その団地も今、また、新しい時代の夢をのせ新しい住居群として大きく進み始めました。
街の栄枯盛衰のような変化と対峙するように賑々たる繁栄を続ける地域の人々の声や息づかいの漏れてくるお店は城北地域の代表的な風景です。
鈴木 和貴/PAX建築計画事務所

JIA 城北地域会



都電荒川線（豊島区 雑司が谷付近）

かつては首都東京の重要なネットワークを構成した都電も、荒川線を残すのみとなりました。
荒川線は王子電気軌道を東京市電氣局が買収により運行を引き継いだ路面鉄道のうち、27系統と32系統が統合されたものです。
軌道沿いに咲き誇る花の廊を通り、また住宅の窓先を走る風景は少しずつ変わり始めてきました。
変化を否定するつもりは毛頭ありません。ただそれが次の時代を担う子供達へ胸を張って語れるかであると思っています。
環境問題の観点から路面電車が見直されてきましたが、王子電気軌道社の本業は電気事業で城北地域の電力供給を担っていました。電車・バスは副業のようであったことは、何か不思議な因縁すら感じます。

鈴木 和貴/PAX建築計画事務所



リフォームの事例（練馬区 桜台）

築17年の住宅をライフスタイルの変化に伴ってリフォームした事例です。
林 秀司/アトリエ塊



八幡神社の神輿庫の連なり（北区 田端二丁目）

外境内から内境内にかけて、隣の東覚寺とは反対側の、一区画置いて田端駅前通り沿いに位置する。
その向かいには、桜の大木の連なりがある。
外境内の前は、赤札仁王尊通りで、内境内をくぐると、お社まで続く急な石階段。
都による都市計画道路が、外境内もそのまま残して、お社を守るような建物、こうした地域の歴史文化遺産というだけでなく、現在も地域コミュニティで生きている、海外にも自己紹介できる私達のアイデンティティを破壊するしたり、弱めたりすることなく、この既存の宝を尊重して、強化するような新しい計画が望まれる。

武田 実代子/環境建築研究室 微笑み空間工房



まちづくり活動（練馬区 石神井公園駅）

10年ほど前に石神井公園駅周辺のまちづくりに参加して以来、石神井商店会と共同で商店街の将来像を検討のお手伝いや街並提案など行っています。
林 秀司/アトリエ塊



八幡神社 倉庫（北区 田端二丁目）

長く急な階段を上り切ると、お社の手前脇にある。
六平方メートル足らずの小ぶりだが、屋根の微妙なむくりや、丁寧な愛でるようなコテ仕事、神様への捧げ物のような造りで、その建物全体が、内境内に、より重さと尊さを齎す、オーナメントのようだ。
安山岩の石細工の本目の細かい美しい細部で、コーナー、壁、開口部のシャッターとグラデーションとなって、わざとらしくなく全体性へ貢献し、よく考えられてシンプル。
こうした宝のような技術も、次世代へと継承されると同時に、僅かに残った鎮守の森の高木からの木漏れ日も、より優しく出来るような、日本人の繊細さを大切に思う。

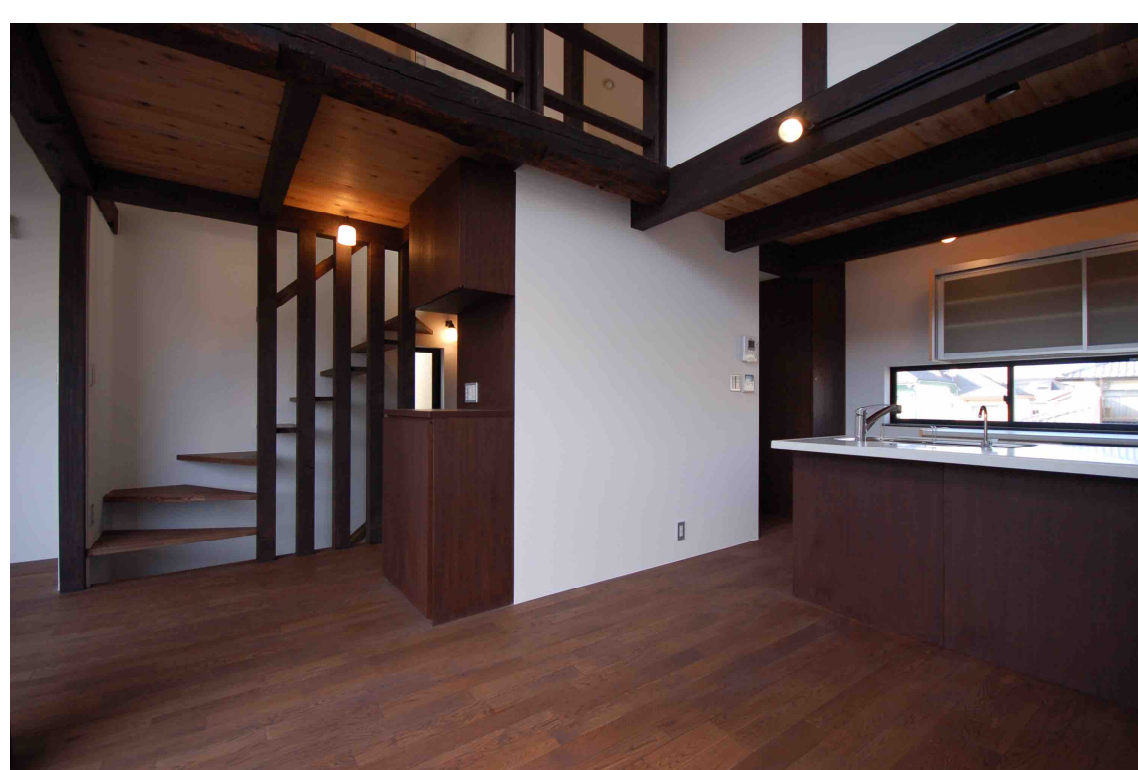
武田 実代子/環境建築研究室 微笑み空間工房



霜降銀座、染井銀座、西ヶ原商店街がいろいろ

山手線駒込駅から王子方向に歩くと、旧古河庭園に至る手前に霜降銀座の入り口がある。ここには、染井霊園内にあった湧水池を起点とし、上野の不忍池に流れ込んでいた谷田川に掛かる霜降橋があったとされ、交差点の名称としてその名が残されている。
川上から、西ヶ原商店街、染井銀座、霜降銀座そしてすこし間があいて田端銀座、谷中夜店通りを経て不忍池へ繋がっている。
後の行政区画では豊島区、北区、文京区の境目を出たり入ったりする商店街のまちなみのうち、この区間は舗石が施され、車の出入りが抑制されて人々のそぞろ歩きを誘っている。加えて直線的な道路ではなく、少しずつ曲がるまちなみは奥に奥に人々をいざなう効果も抱えている。
並行した通過交通網があったこと、大きな商業資本が入ってこなかったことなどの幸運により、地域に根ざした商店の活気と熱気が依然として残り、染井桜発祥の地としての江戸情緒につながるかわいらしさが継承されている。
写真は霜降銀座で、車の進入がない、この狭さの心地よさが伝わるだろうか？
肩が触れるほど狭い往来は、その他の広い商店街よりも活気があり、売り上げも高いそうだ。

深川 良治/深川良治建築計画研究室



住宅設計監理の事例（練馬区 旭町）

建て主さんのリクエストで古材を使用した小住宅です。

林 秀司/アトリエ塊

- 秋山 信行 秋山設計事務所
- 飯村 和道 女子美術大学芸術学部デザイン学科
- 石田 敏明 石田敏明建築設計事務所
- 泉 幸甫 泉幸甫建築研究所
- 磯部 和久 アトリエ磯部
- 伊藤 佐朗 平安設計
- 片山 和俊 東京藝術大学美術学部建築科
- 亀井 天元 豊島区勤務・NPO法人木造建築文化総合センター 兼業
- 久間 常生 久間建築設計事務所
- 齋藤 孝彦 齋藤孝彦建築設計事務所
- 柴田 いづみ 滋賀県立大学環境科学部
- 柴田 知彦 S K M設計計画事務所
- 鈴木 和貴 P A X建築計画事務所
- 田口 雅之 三橋建築設計事務所
- 竹内 啓二 渡辺建築事務所
- 武田 実代子 環境建築研究室 微笑み空間工房
- 中嶋 富男 中嶋富男建築設計事務所
- 早川 泰 早川設計工房
- 林 秀司 アトリエ塊
- 廣瀬 光夫 広瀬建築設計事務所
- 深川 良治 深川良治建築計画研究室
- 藤本 昌也 現代計画研究所
- 松本 哲夫 剣持デザイン研究所
- 南 知之 石本建築事務所